

監査報告書

令和8年5月11日

社会福祉法人向陽福祉会

理事長 山口 直子 殿

監事 永野 卓 美



監事 萬谷 正 樹



私たち監事は、令和7年4月1日から令和8年3月31日までの令和7年度の理事の職務執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

③ 向陽福祉会各施設の現状

向陽苑は今期も感染症対応で気が抜けないところがありましたが、生活相談員がケアマネとの連絡を密にすることでデイサービスの収益改善に大きく貢献し、黒字化できました。

向陽りんどう苑も引き続き感染症対応と高騰する物価高対策に苦慮してきました。収入面では加算型から強化型へ移行を目指すと共に、費用面での構造改革を図ることにより長年の赤字対策に取り組んでおります。職員の採用活動は困難を極め、ミャンマーからの採用も検討しています。

ひまわり苑は増収増益を確保しましたが、建物、設備の経年劣化への対応を迫られ、限られた予算の中で、個別対応での補修工事で対応しています。人事面では縁故採用で充足できており、将来を考えた体制を整えて行きたいと考えています。

以 上